

南信濃まちづくり通信

第58号 令和2年12月号 2020年12月17日発行

発行：南信濃まちづくり委員会
編集：まちづくり委員会総務委員会
事務局：南信濃自治振興センター
TEL 34-5111

30年前の手紙が届く タイムカプセルで過去の家族に出会えた！

11月19日～22日までの4日間に開いた地区芸術祭に合わせ、会場内で30年前に埋設されたタイムカプセルに投函されていた物品の引き渡しを行い、カプセルの中に入っていた当時の住民の想いが込められ物品を公開し、その1つ1つを本人や家族に直接受け取っていただきました。

一家族で10個を超えるような多くの封筒が投函されていた方もあり、30年後の未来に向けた当時の熱い想いを感じさせてくれました。また、「亡くなったおじいさんの封筒だ」、「お父さんが小学生だった封筒だ」などと封筒の名前を見て、家族で楽しんでいる姿を見かけました。

会場には、カプセルに収められていた当時の村広報紙、写真、30周年事業として発行された記念誌などを展示するとともに、村民運動会の様子を撮ったビデオ映像の鑑賞コーナーを設けました。ビデオには、それぞれ30歳若い自分自身や住民、当時の公民館役員の皆さんの姿を見て、「あれー、〇〇さんが走ってる」「△△さんが仮装で応援してる」など、思い出話にも花を咲かせていました。

遠方から駆けつけてくれた方もいました。当時、学



おばあさんの柴原美知代さん 名古屋
山と一緒に封筒を手にする福沢あお
かちゃん (3才) 市内正永町在住)

校に赴任していた先生やその娘さんの家族連れ、また他地域に暮らす長男が来訪し、貴重な親の封筒を受け取って帰りました。

ご近所や遠方に暮らす親戚、友人のものまで、代わりに受け取りお届けしてくれるなど、地域の皆様には、大変にご協力をありがとうございました。

遠方で受け取ることができなかつた方で住所が判明している方については、郵送させていただきますが、そのほか受け取り手の所在が不明のものもあります。これらについては、来年3月までまちづくり委員会事務局（自治振興センター）で保管し、来所していただければ窓口で渡すことができます。不明な点については、遠慮なくお問合せください。

水力発電所対策委員会開く

遠山川水力発電所建設計画対策委員会を12月16日、自治振興センターで開催しました。

今回の委員会は2回目で、これまで同委員会内に設置した小委員会による市の担当窓口となる総合政策部企画課との協議内容や今後の計画について説明があり、また中部電力担当者から建設計画に関する詳細説明がありました。今回は、上村下栗地区、南信濃の須沢、中根地区で建設計画に関する説明会を開催し、また地区内にも同様の説明会を開催し、皆様のご意見いただきながら建設計画に対する疑問や不安に思われてい

～中部電力、説明会資料から～

当社では、エネルギー自給率の向上と低炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの開発を積極的に進めています。なかでも水力発電は、長年にわたり安定した発電電力量を期待できることから、コストダウンに努めつつ開発を進めていきたいと思っております。建設を進めるにあたっては、環境保全対策等に万全を期すと共に、皆様に親しんでいただける発電所づくりに努めてまいります。

皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

ることについてご理解がいただけるよう協議を重ねてまいります。

宅幼老所“しろいわ” 12/1 運営開始

いつまでも遠山で暮らし続けるための助け合いの場
地域と共に作り出したい

下市場 遠山 都志男

地域の皆様のご支援を頂きまして、下市場トンネル近くに「宅幼老所しろいわ」を開設させて頂きました。

高齢化と人口減少が急速に進むこの地域で、この先20年、30年と暮らし続けるためには、生活するうえでの困りごとに迅速に対応できる福祉サービス事業所が必要であるという気持ちで開設しました。

当施設はご高齢の方が「通い」と「泊り」のできる施設となっています。さらには障がいのある方やお子様も利用できる「共生型サービス事業所」を目指しています。

「通い」のできる人数は1日に18名様、「泊り」は1日に4名様となっています。また、足腰の弱くなった方が負担なく入浴できる設備も整えています。

厨房設備は飲食店許可を取り、お弁当や調理パンなどの提供も出来るようになっていきます。

開設にあたっては補助金や交付金をほぼ利用できず、非常に困難な船出となりましたが、地域の皆様のお力をお借りしながら遠山郷を維持、発展させてゆくための一助となれたらと考えております。

また、開設にあたってお祝い、食器やタオル類、絵画などを寄贈して下さった地域の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

ありがとうございました。

これからもよろしく願いいたします。

◇かぐらの湯から営業時間などのお知らせ◇

○平日の営業時間 来年2月末日まで：正午から午後8時（定休日：毎週木曜日（変更なし））

但し、土曜・日曜・祝祭日は変更なし。（午前10時から午後9時）

○年末年始の営業 ・12月29日・30日：午後1時から6時 ・1月4日 午後3時～午後8時

○年末年始の休業 ・12月31日～1月3日（休業）

○メンテナンス休業 来年2月1日～2月10日

《◎営業時間終了30分前に受付終了》



開所を祝うテープカット 先月三十日

◇まちづくり委員会 牧島会長からのコメント◇

南信濃地区に民間として2つ目の福祉事業所が誕生し、12月1日営業が始まりました。

開所式に招待していただき、新しい施設で当然ではありますが、明るい室内と真新しい設備、また壁に掛けられた南信濃在住の県展入選画家お二方の油絵3点が、施設のぬくもりを象徴して印象的でした。

新規起業された若き社長さんとスタッフの想いは、「いつまでも遠山で暮らし続けるための助け合いの場を、地域と共に作り出す」で、高齢化率60%超えの当地区にとって、力強い味方が加わり、これからに期待したいと思います。

（解説）「宅幼老所（地域共生型サービス）」とは、住み慣れた地域で、高齢者や障がい者等が家族や近隣住民と共に生活するための安全で家庭的な雰囲気のもと、利用者のニーズに応じたきめ細かなサービスを提供する地域ケア拠点の総称です。

《厳禁のお願い》散歩中の犬のウンチは、持ち帰ってね！

路上、道沿いの畑や草の中に犬のウンチの放置で迷惑しています。生活環境はみんなを守るもの、一人ひとりの自覚が必要です。

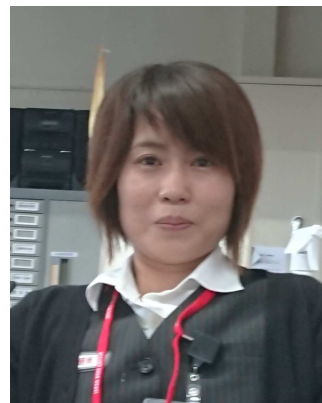
【次回の自治会文書配布予定日】

12月28日（月）

地区の話題(その19)

再開!!

木沢簡易郵便局 11/2開局 地域コミュニティの場としてご利用を!



中新町 草田 優美

平成31年1月28日から長期間にわたって閉鎖していましたが、木沢簡易郵便局は、多くの皆様のご理解とご協力により11月2日に再開をすることができました。

閉局により地区のお客様は、遠山郵便局、上村郵便局まで行かなければならず、大変なご不便をおかけしておりました。

この再開にあたり、同局の運営を受託することになりました。よろしくお願いいたします。

開局日には月初めのお忙しい中、地域の皆様が続々と来局くださり、盛大にスタートすることができました。厚く御礼申し上げます。また「この日を待っていた」とお声をかけていただき、郵便局の地域における責任の重さを感じました。

今後は、地域サービスを最重点として取り組むとともに、木沢地区が旧木沢小学校を中心に活性化を図っているため、局舎内に地域の皆様の写真や手芸の作品を

展示するなど、皆様が楽しみ集える場とするなど、何らかの形で地域貢献ができればと思います。

また、ゆくゆくは局舎内に、南信濃にお住まいの皆様や木沢小学校に訪れる観光客の皆様に利用していただきますよう、カフェを併設する計画が進められています。具体的な日程やメニュー等は決まっておりますが、開店日等が決まりましたら改めて局舎掲示板等でお知らせいたします。

お気軽にご利用いただけたら幸いです。皆様のご来局を心よりお待ちしております。

◇電話番号：34-2049

◇営業時間：9:00~16:00

今日も元気に保育園

楽しく『ありがとうの会』

《和田保育園》



一緒にダンスを楽しみました!



お世話になっている地域の皆様方を招待して、毎年「収穫祭」をしていますが、今年は「新型コロナウイルス感染症対策」のため「会食」は取りやめ、来所していただいた皆さんに感謝の気持ちをお伝えする「ありがとうの会」を行いました。

11月26日、子どもたちは「野菜」を描いて手作りの看板を作り、輪つなぎを作って会場を飾り付けし、準備してお客様をお迎えしました。

お忙しい中7人のお客様に参加して頂き、歌と踊りを元気よく発表し、最後にみんなで作った「フォトフレーム」をプレゼントして喜んで頂きました。

午前中は年長と年中児が自分たちの作った野菜を

包丁を使って切るなどのクッキングを体験し、外ではかまどで「栗サツマイモおこわ」を蒸かしました。湯気が出て「せいろを釜に乗せる」とすぐに「あー、お餅のにおいがする」と子どもたち。五感で楽しめました。おこわも地域の方にお土産としてお渡しし、感謝の気持ちを伝えることができました。

出席したまちづくり委員会の牧島会長は催しの感想のコメントとして、『二十四の瞳』のようなキラキラした子どもたちの瞳を見て、自分たちが元気を頂きました」と話してくれました。

来年はコロナが収束し、もっと楽しい収穫祭になるといいですね。

信州遠山郷 交流拠点&移住定住情報の発信基地

ゲストハウス“太陽堂”だより



水戸です。地域おこし協力隊の任期は、11月末で満了しましたが、引き続き太陽堂での交流の様子について、発信させていただけることになりました。これからもどうぞよろしくお願いします。

遠山郷へプチ移住！？の大学院生現る

11月の太陽堂は、ちょっと特殊なゲストさんが滞在してくれました。なんと10月31日から11月20日までの長期滞在！（途中4泊ほど抜けましたが）どんな方かというと、、、



関根 瑞希さん

麻布大学の大学院1年生。学部生のころから、フィールドスタディや小学校の長期休暇見守り事業「自磨の時間」のサポート学生として何度も遠山郷を訪れてくれました。

今回は、ご自身の研究テーマである「環境教育」の実習現場として、遠山郷を選び、和田、上村の両小学校に計2週間登校し、子供たちと交流しながら実習をしてきました。

学校での交流はもちろん、到着そうそうアマビエハロウィンのイベントのお手伝いをしてくれ(させられ?)、南信濃地区運動の集いにも参加してくれました。

明るいお姉さんの存在は、子供達にも大人気。休日も休む暇なく子供たちに付き合ってくれていました。



←到着初日にハロウィンで焼き鳥係を任命される関根さん



←最終日も芸術祭のお手伝いをしてきました

太陽堂も一人子供が増えたような(!)にぎやかさで、彼女の目から見る遠山郷の日々の話を毎日聞くことができ、とても楽しく、刺激的な3週間でした。

コロナ禍の遠山郷入りにあたり、事前の抗体検査や2週間の隔離まで行ってこの遠山郷を実習の場を選んでもらい、本当にありがとうございました。最後に本人から一言コメントを頂きましたので紹介します。

《関根瑞希さんからのひとこと》

“今回遠山郷に3週間滞在して、「ぼくのなつやすみの世界だー！」と思いました。(笑)(ゲームの題名です。良いゲームなので是非YouTubeで見てみてください。)

常に水の音が聞こえて、人との繋がり濃い遠山郷はとても居心地いい場所です。縁もゆかりも無い私を受け入れてくれた地元のみなさん、本当にありがとうございました。また来る時はよろしくお願いしますー！”